

9/1

2009 No.25
特別定価 600
yen

pen

with New Attitude

もっと
知りたい

戦国武将。



特別付録
戦国武将
家紋シール

◎ソムリエ・トータル飲料コーディネーター。米と酒の聖地、櫻井黒に生を受ける。「All About」の日本酒・焼酎ガイド(<http://allabout.co.jp/gourmet/sake/>)も担当している。世界初のバイリンガル日本酒本「世界に誇る 品格の名酒」(GAP JAPAN)をこのほど国内外で出版。日本酒普及に奔走する日々が続く。

魅惑の酔い心地を誘う、刺激的なパスティス

お酒で身を滅ぼした芸術家といえはゴッホやロートレックが有名だが、その身上を潰したのは「アブサン」。

高アルコールのうえに安く、澄んだ緑色の原酒に水を注ぐと白濁する面白さや、南仏特産のハーブを使った個性的な風味は癖になる魅力だ。そしてなにより、原料の一つ「ニガヨモギ」には幻覚症状を起す作用があり、麻薬のよさうな効果があったという。ま、芸術家たるもの、ほとぼる想像力を抑えたり、搾り出すように作品を生み出すには、ガツンと脳みそに刺激を与えてくれる何かが必要なんではしょうな。

セザンヌのふるさと南仏エクサン・プロヴァンス(エクス) 滞在の1か月間、飲みましたねえ、アタシも。サン・ヴィクトワールを眺め、セザンヌもほかの画家や画商とコレを飲み語り合ったのかなあなんて想像しながら。

あ、いや、アブサンではなくて「パスティス」ね。このパスティスは、20世紀に入って製造中止になった麻薬酒

アブサンを真似て、アニスやリコリス、フェンネルといったハーブを原料に造られたリキユール。原酒は透明だけど水を注ぐと淡い黄色を帯びた白に濁るところも、超個性的な風味も、アブサンそっくり(だと思おう)。

エクス滞在はフランス語学研修が目だったけど、時はバカンス真つ只中の7月。真つ青な空、プロヴァンス特有の乾いたかくわしい風、世界中からの観光客であふれる紺碧の海岸は目の前。授業そつちのことで、マルセイユやカシーの海水浴場に泳ぎにばかり行ってたなあ。ひと泳ぎした後で飲む「パスティス51」の美味しかったこと。数あるパスティスのうち1951年製

造のドライタイプで、ソーダ割りにすると爽快さが増し、何杯でもいける。砂浜にあるカフェでソーダ割りを飲んでみると、隣り合った気のいいヒゲ親父が話しかけてくる。きつい南仏訛りにもはらぐると結構ついていけるようになり、会話が成り立ってくる。最後は何杯目かのパスティスで乾杯。ふふん、フランス語なんて簡単、簡単と思いましたがね。もちろん、これはパスティスの麻薬効果、いやいや、心地いい酔いのおかげなんだけれど。

ちなみに、パスティスとはフランス語で「る Pastis」=「真似する」から。もちろん、これはうんとあとから知ったこと。

今宵も一杯

69

杯目 文友田晶子

パスティス51

Pastis51

原産国 フランス

数種のハーブによる味つけが、独特の風味を呼ぶリキユール。商品名にある「51」は、製造開始された1951年と、水に対して5対1で割ると美味しい、という説に由来するとされている。アルコール度数は40度。



「パスティス51」が飲める店

BAR NOI

バーノイ

●東京都渋谷区円山町10-9 メゾン渋谷1F

☎03-3770-5477

営業19時～深夜3時(月～木)

19時～早朝5時(金、土、祝前日)

※日 JR渋谷駅より徒歩6分

